

COFFEE MILL

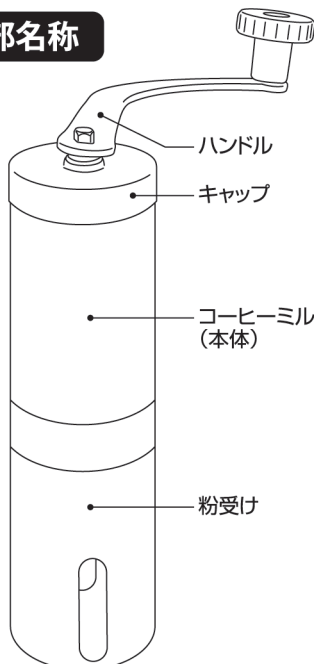
このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品をより安全にご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みいただいた後も大切に保管してください。

《製品に関する注意事項》

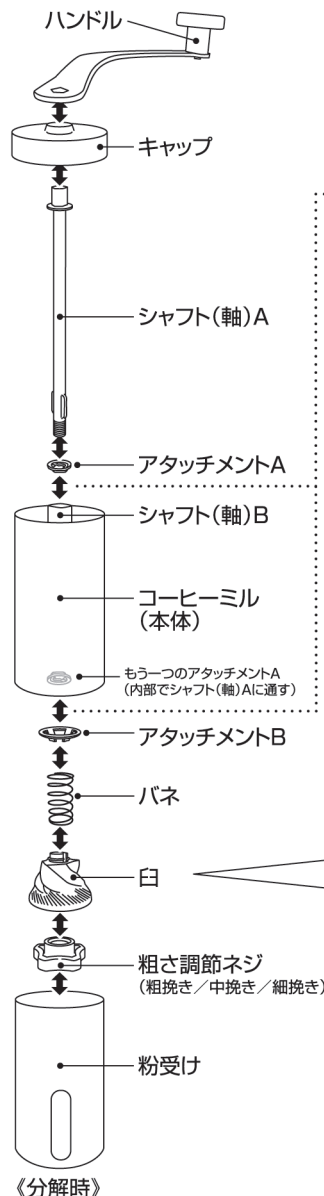
※ご使用前に本製品を必ず洗浄してからご使用ください。

- 食器洗い乾燥機、電子レンジは使用しないでください。
- 製品の特性上、匂いが強いと感じる場合がございます。匂いが気になる場合は何度か洗浄してからご使用ください。
- 製品の品質には万全を期しておりますが、製造工程上やむなく汚れや、バリ・キズが多少残ってしまう場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 落としたり、振り回したり、乱暴な扱いをしないでください。
- 変形や破損がある場合は使用しないでください。
- コーヒー豆以外を使用しないでください。
- コーヒー豆やドリッパー、フィルターは別売です。別途、市販品をお買い求めください。
- 挽いたコーヒーは時間とともに酸化します。なるべく早めにお召し上がりください。
- 製品の破損につながるため、コーヒー豆を挽く際にハンドルはゆっくり回してください。
- 臼の切れ味が落ちる場合がありますが、これは摩擦による経年劣化によるものです。
- 粗さ調節ネジを締めすぎると、臼同士の摩擦で臼が破損する場合があります。挽く際は、必ず調節ネジを軽く緩めてご使用ください。
- 保管の際は、高温・多湿な場所を避けて、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。
- 廃棄の際は、各地方自治体の指示に従ってください。

各部名称

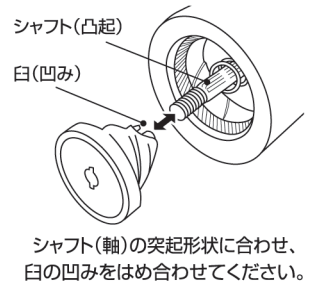
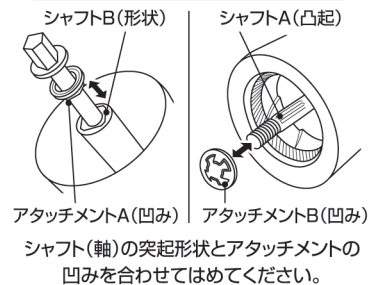


《組み立て時》



《分解時》

アタッチメントの接続方法



使用後のお手入れ

- 1) ご使用後は、コーヒーミル内部のコーヒー豆、粉砕後のコーヒー粉を全て取り除いてください。
- 2) ハンドル・キャップ・粉受け・臼などパーツを全て分解してください。
- 3) やわらかいスポンジと中性洗剤を使用して、内部を洗浄します。
- 4) 臼の汚れは歯ブラシなどで擦って、付着した粉を落としてください。
- 5) 水洗い後は、水分をよく拭き取って乾燥させてください。

※傷の原因になりますので、クレンザーや金属たわしは使用しないでください。

※変形・破損の恐れがありますので、絶対に煮沸消毒はしないでください。

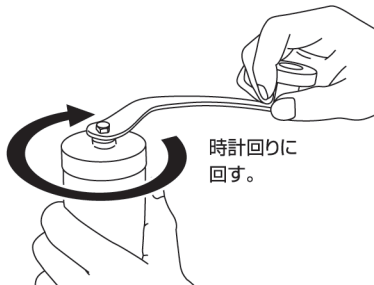
※臼にコーヒー豆の油が付着して変色する場合がございます。その場合は、薄めた中性洗剤に浸け置きし、十分にすすぎ洗いをしてください。

挽きたてコーヒーの作り方



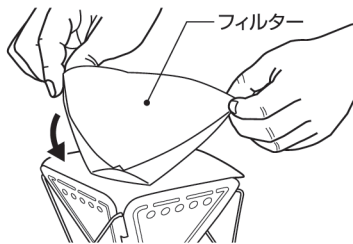
1. コーヒーミルを開ける

コーヒーミル(本体)のキャップを取り外す。



4. コーヒー豆を挽く

コーヒーミルを持ちながらハンドルを回すと、内部の臼でコーヒー豆を粉砕します。
※挽き臼を傷めますので、ハンドルを逆回しに回したり、空回ししないでください。
※ハンドルはゆっくり回してください。



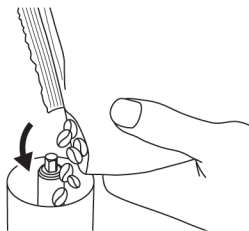
7. フィルターをセット

セットしたドリッパーの上にフィルター(別売)をセットします。
※フィルターは別途、市販品をご用意ください。



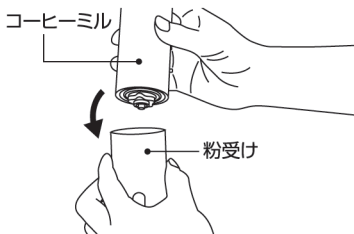
10. 挽きたてコーヒーの完成

挽きたてコーヒーの風味がおちる前に、なるべく早めにお召し上がりください。



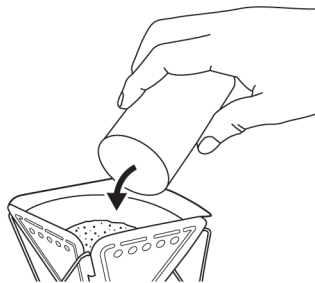
2. コーヒー豆を入れる

コーヒーミルの中にコーヒー豆(1杯分約10g)を入れる。※最大約30g(3杯分)まで可能。



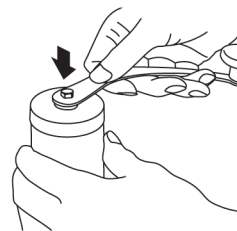
5. 粉受けを取り外す

豆を挽き終えたら、コーヒーミルから粉受けを取り外す。



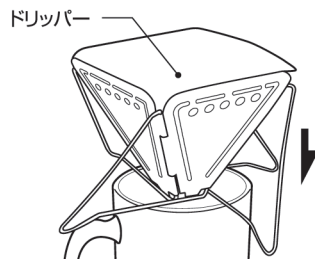
8. 挽いたコーヒー粉を入れる

セットしたフィルターに、挽き終わったコーヒー粉を入れます。



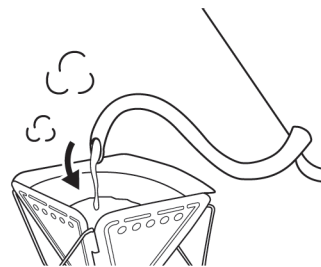
3. ハンドルをセットする

キャップを閉めてハンドルをシャフト(軸)にセットする。



6. カップにドリッパーをセット

カップにドリッパー(別売)を広げてセットします。
※ドリッパーは別途、市販品をご用意ください。



9. お湯をゆっくり注ぐ

粉全体が湿る程度にお湯を注ぎます。30秒ほど蒸らしながら、ゆっくりとコーヒーを抽出していきます。

挽き具合(粗さ)の調整方法

調節ネジを緩める→粗挽き
調節ネジを締める→細挽き

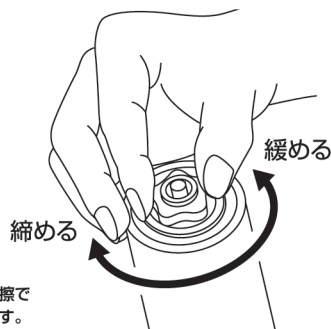
※シャフトを固定したまま、粗さ調節ネジを左右に回すことで、挽き具合を調整できます。

※粗さ調節ネジを回しにくい場合は、軽く臼部を押さえながら回すと調整しやすくなります。

※中挽きの際は、挽き具合を確認しながら適度な粗さに調整してください。



粗さ調節ネジを締めすぎたまま挽くと、臼同士の摩擦で臼が破損したり、臼が空回りしてしまうようになります。
注意 挽く際は、必ず調節ネジを軽く緩めてご使用ください。



〈製品に関するお問い合わせ先〉 株式会社ハック

〒578-0984 東大阪市菱江5-9-10

フリー
アクセス

0120-976-089

【お問い合わせ】月～金(土日除く) 10:00～16:00